

## シラバス

科目名	高齢者福祉論		
担当教員	吉岡久美		
配当年次	2年次	開講時期	1学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2単位
準備事項			
備考			

### 【授業のねらい】

- 〈本科目のねらい〉
1. 高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。
  2. 高齢者に関する法制度と支援のしくみについて理解し、その生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援の在り方を理解する。
- 〈学修者の目標〉
1. 高齢者の社会環境を理解し、支援に必要な介護保険法の概要、諸手続き、介護保険サービスの種類、地域支援事業、地域包括支援センターの機能や役割を説明できる。
  2. 高齢者への総合的相談援助に必要な高齢者に関する関係法と活用を説明できる。

### 【授業の展開計画】

1. 高齢者の定義づけと、身体的・精神的・社会的特性を理解する。
2. 高齢者の生活実態を知り、現状からこれを取り巻く社会環境を知り、これからの問題を理解する。
3. 高齢者福祉の理念と高齢者観の変遷といった高齢者福祉の歴史を知る。
4. 高齢者に対する法制度の一つである介護保険法の概要、介護報酬のしくみについて知る。
5. 介護保険制度における組織及び団体の役割、保険者と被保険者を理解する。
6. 介護保険法における施設サービスの種類、苦情対応を含めた役割、機能を理解する。
7. 老人福祉法の歴史と概要、措置の状況について理解する。
8. 高齢者の医療の確保に関する法律のできるまでを知り、法律の概要を理解する。
9. 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）を理解する。
10. 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、高齢者の居住の安定確保に関する法律の成り立ちと概要を理解する。
11. 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律、育児・介護休業法の概要を理解する。
12. 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割を理解する。
13. 高齢者と家族等に対する支援の実際として、地域包括ケアシステムを理解する。
14. 高齢者と家族等に対する支援の実際としての認知症高齢者の支援を理解する。
15. 高齢者と家族等に対する支援の実際として介護予防、家族へのレスパイトケアを理解する。

### 【履修上の注意事項】

該当する単元については、指定テキストを用いて事前に学習しておくこと。講義後、もう一度通読して復習し、理解を深めること。講義中には、配布する学び・質問用紙に記入し、必要時には講義以外の時間を活用して疑問点を解決する方法を確保すること。

また、指示したレポートは期限を守り、提出すること。

（事前事後学習 計 90 分程度）

### 【評価方法】

単位修得定期試験 90%、課題レポート 10% で評価する。

レポートについてはコメントして返却する。

### 【テキスト】

社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者福祉』最新版 中央法規  
野崎和義監修『社会福祉六法』最新版 ミネルヴァ書房

### 【参考文献】

生野繁子編『基本から学ぶ高齢者ケア』最新版 金芳堂  
その他、適宜、講義中に紹介する